

2026年2月5日

各 位

住 所 東京都渋谷区桜丘町26番1号  
 会 社 名 GMOプロダクトプラットフォーム株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 萩田 剛大  
 (コード番号: 3695 東証グロース)  
 問合せ先 取締役 C F O 森 勇憲  
 (TEL: 03-5962-0037)

## 通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年8月7日付で発表しております2025年12月期通期業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

- 通期業績予想について

### 1. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 6,654	百万円 205	百万円 173	百万円 9	円銭 2.42
今回修正予想（B）	6,818	340	323	155	41.83
増減額（B）－（A）	164	135	150	146	—
増減率（%）	2.5%	66.2%	87.0%	—	—
(参考)前期連結実績（2024年12月期）	5,025	235	248	183	112.10

### 2. 修正の理由

2025年12月期における当社グループの業績は、GMOタウンWi-Fi株式会社の連結子会社化により広告売上が大きく増加する一方、アンケート売上については成長が鈍化しておりました。この状況を踏まえ、アンケートを担うGMOリサーチ&AI株式会社の事業構造について、GMOタウンWi-Fi株式会社において実証されたストック型の高収益モデルへの転換に向けて事業構造改革を進めておりました。広告売上は2025年第4四半期まで堅調に推移いたしました。また、事業構造改革が順調に進捗した成果として、アンケートの売上について想定以上に順調に推移し、前回予想時には下半期売上高2,008百万円を見込んでいたところ、実際の下半期売上高は2,240百万円となりました。また、収益性改善への取り組みとして、労働集約的な事業モデルからストック型の事業モデルへの転換を進めた結果、オペレーション原価の削減効果等により、下半期の売上総利益率が前回予想時から7.3ポイント程

度改善する成果が生まれ、売上総利益及び営業利益についても想定以上に改善いたしました。

また、営業外損益項目についても、第4四半期における為替変動が為替差損益の発生に対して有利に働いたなどの要因がありました。

それらの結果として、2025年12月期の連結業績予想を上記記載のとおり修正いたしました。

## ● 配当予想について

### 1. 2025年12月期に係る配当予想の修正

	1株あたりの配当額(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年12月期)	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
				34.58	34.58
今回修正予想 (2025年12月期)				59.52	59.52
当期実績 (2025年12月期)	0.00	0.00	0.00		
(参考) 前期実績 (2024年12月期)	0.00	0.00	0.00	114.84	114.84

### 2. 修正の理由

当社は、2025年2月12日付「株主優待制度の導入及び配当方針の変更（目標配当性向の引き上げ）に関するお知らせ」において公表させていただきましたとおり、株主還元の拡充のため、2025年12月期に係る配当から、目標とする連結配当性向を15%引き上げ、連結配当性向の目標を65%以上に変更いたしました。2025年12月期に係る配当予想額についても、当該目標配当性向を踏まえて算定しております。なお、2025年12月期の配当予想額は、GMOタウンWi-Fi株式会社の第1四半期の業績も含めた最終利益を元にしております。

上記「通期業績予想について」に記載のとおり、2025年12月期の連結業績予想を上方修正いたしました。当該業績予想の上方修正および当社の配当方針にもとづき、2025年12月期に係る配当予想を修正いたしました。その結果、2025年12月期の配当予想額は、1株あたり59円52銭（期末一括配当）としております。

以 上